

# TOM'SカラーラG5



推定最高速 250km/h

わずか690kgのボディに280馬力というエンジンを載せたG5らしいG5。ユニットはトヨタの18RG・4バルブで、その乾いたカン高い排気音はきわめて小気味良い。オリジナルはAピラーからルーフだけというくらい完全なレーシングカーで、シャシはパイプとアルミパネルで特製されている。これはカラーラの皮をかぶったレーシングカーだ。ボディスタイルは明らかにウエッジで、静止していても迫力。タイヤは前245/525-14、後ろ270/590-16。仕上げはきわめて美しく、特に簡潔で凄みのあるコックピットは思わず座ってみたくなくなるほど魅力的。エンジンが完調ではないにもかかわらず、0-400mで11秒94をあっさりマークした。推定最高速は250km/hということだ。

# エルマノスRX7 G5



◀252iとは違い、GCと同じキャブ仕様。最大出力はなんと300馬力

カン高いロータリーレーシング独特のエキゾーストノートを残してエルマノスRX7は水しぶきにつつまれてストレートを走った。出力300馬力、ウェイト890kgは0-400mを12秒97（超ウェット、レインタイヤ使用）で走り切った。最高速は260km/hあたりという。

ポルシェ935を思わすズルンとしたフロントエンドとリアウイング、スピードスター製ホイールに履いたタイヤは前265/550-14、後ろ305/550-14とこれまた超ファット。ドライビングランプを閃かせて雨の谷田部を走るエルマノスRX7はル・マン24時間の明け方のシーンを思い起こさせる。

推定最高速 260km/h